

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果および分析

1. 平均正答率等について ※理科についてはCBTで調査しているため調査数が少なくなっています。

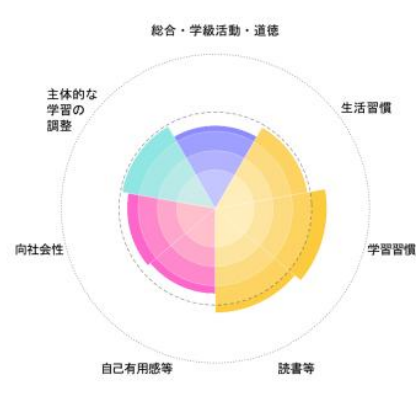
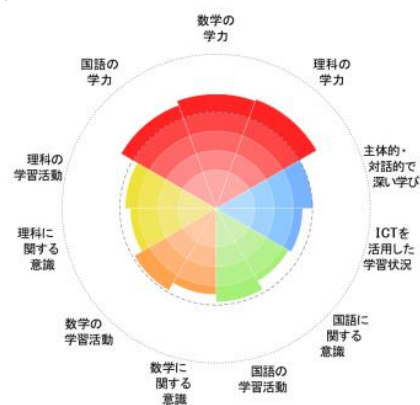
	国語	数学	理科
本校	正答数 8.2/ 14	正答数 8.4/ 15	正答数 3.4/6
	正答率 58.0%	正答率 56.0%	正答率 56.6%
神奈川県（公立）	正答数 7.6/ 14	正答数 7.6/ 15	正答数 3.0/6
	正答率 55.0%	正答率 51.0%	正答率 50.0%
全国（公立）	正答数 7.6/ 14	正答数 7.2/ 15	正答数 2.9/6
	正答率 54.3%	正答率 48.3%	正答率 48.3%

▶このように、本校は3教科すべてにおいて、神奈川県（公立）・全国（公立）の平均よりも上回っている傾向がみられます。

2. 生徒質問紙の分析

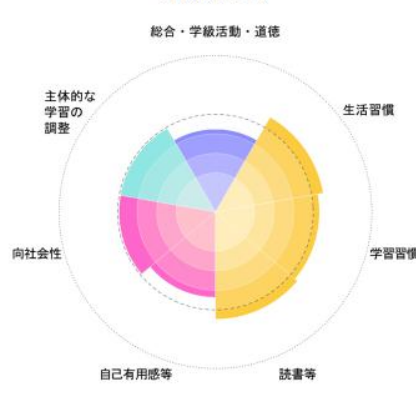
[教科を中心とした学力・学習状況]
(全国基準)

[その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）]
(全国基準)



(神奈川県基準)

(神奈川県基準)



生徒質問紙の分析によると、生活習慣や学習習慣については、神奈川県や全国に比べて高い意識をもっていることが分かりました。一方で、「自分が他者に必要とされている」と感じる「自己有用感」や、学活や道徳、総合などの授業、ボランティア活動などで他者や社会全体に利益をもたらす活動への意識に低い傾向がみられ、本校の課題であることが分かりました。この点につきましては今後の教育活動の中で、他者の利益のために行動できる心情や、実践意欲などを育てていきたいと思ひます。